

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第1区分

【発行日】平成28年4月14日(2016.4.14)

【公開番号】特開2014-199050(P2014-199050A)

【公開日】平成26年10月23日(2014.10.23)

【年通号数】公開・登録公報2014-058

【出願番号】特願2013-252795(P2013-252795)

【国際特許分類】

F 02 B 39/14 (2006.01)

F 02 B 39/00 (2006.01)

F 01 M 1/16 (2006.01)

【F I】

F 02 B 39/14 G

F 02 B 39/14 F

F 02 B 39/00 C

F 02 B 39/14 A

F 01 M 1/16 F

【手続補正書】

【提出日】平成28年2月26日(2016.2.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

コンプレッサホイールとタービンホイールとを連結したシャフトを回転可能に支持する軸受部へと潤滑油を供給するターボチャージャの潤滑油供給機構であって、

オイルポンプから圧送される潤滑油を前記軸受部へと案内する供給油路と、

前記供給油路に設けられ、当該供給油路を流通する潤滑油の圧力に基づいて当該供給油路における前記潤滑油の流路を絞ることによって、前記供給油路から潤滑油を逃がすことなく当該潤滑油の流量を調整する流量制御弁と、

を具備することを特徴とする、

ターボチャージャの潤滑油供給機構。

【請求項2】

前記流量制御弁は、前記軸受部が形成されるベアリングハウジングに設けられることを特徴とする、

請求項1に記載のターボチャージャの潤滑油供給機構。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

即ち、請求項1においては、コンプレッサホイールとタービンホイールとを連結したシャフトを回転可能に支持する軸受部へと潤滑油を供給するターボチャージャの潤滑油供給機構であって、オイルポンプから圧送される潤滑油を前記軸受部へと案内する供給油路と、前記供給油路に設けられ、当該供給油路を流通する潤滑油の圧力に基づいて当該供給油

路における前記潤滑油の流路を絞ることによって、前記供給油路から潤滑油を逃がすことなく当該潤滑油の流量を調整する流量制御弁と、を具備したものである。